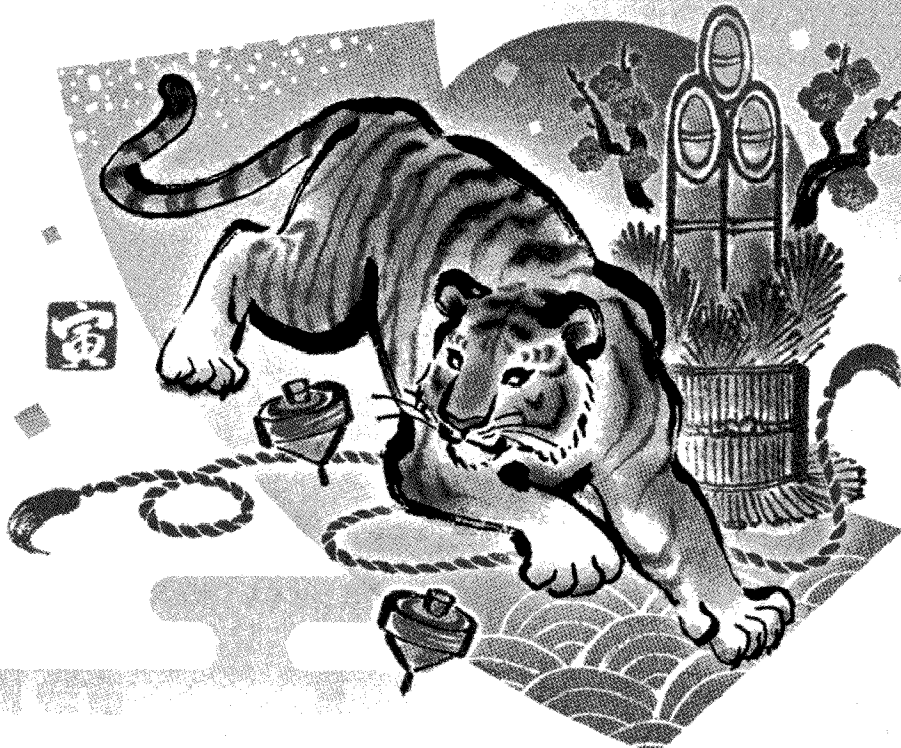


九州兼喜

2022.1

No. 143

謹賀新年



謹んで新年の
ご祝詞を申し上げます

令和4年 元旦

年頭のご挨拶

九州兼喜会
会長

篠森義晴



明けましておめでとうございます。

清水建設九州支店の皆様、又、九州兼喜会の皆様方におかれましては、健やかな新年をお迎えになられましたことと、謹んでお慶び申し上げます。旧年中は皆様方に多大なるご高配を賜り、心より御礼申し上げます。本年も何卒宜しく願い申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、本当に様々な事があった一年でした。

感染症の脅威に直面してもうすぐ丸二年が経とうとしております。皆様も感染症対策を実施しながら、現場も会社も経済も回していかなければならないという、非常に難しい運営を迫られたことと存じます。九州兼喜会におきましても、総会や安全大会など様々なイベントを昨年中止せざるを得ませんでした。会長として誠に申し訳なく、大変残念に思う次第であります。変異種の脅威など予断を許さない状況は依然続いておりますが、今年こそは、安心して社業に邁進し、生活できるようになる事を、そして何より皆様と一堂に会することができるようになることを心から願っております。

政治におきましては米国でバイデン大統領が、そして我が国においても岸田総理が誕生しました。米中対立に加え、コロナ禍という難しい状況下での舵取りは大変困難を極めるのだらうと思っておりますが、世の中が明るくなるような政治をして頂けることを願う次第です。

コロナ禍で開催が懸念されていた東京オリンピック・パラリンピックも無事開催する事ができ、多くの感動と活力を貰いました。大会運営にあたりご尽力された全ての方々へ心より感謝申し上げたいと思います。また、スポーツにおきましては、大谷翔平選手の前代未聞の大活躍も大変な活力を貰いました。暗い話題が多い中で、非常に胸が躍る大谷選手の活躍に心から拍手を送りたいと存じます。

さて、昨年三月で東日本大震災が発生して10年という月日が経過しました。沢山の悲しみを乗り越え、多くの方々の血のにじむような努力で着々と復興が進んでいると存じます。しかし、どれだけの月日が流れたとしても、あの日の甚大な被害や犠牲、教訓を私達は忘れてはなりません。建設業に携わる私たちに今何ができるのかを再度考え、防災や減災の観点から如何にして社会に貢献

できるのかを常に問い続ける必要があると思います。

先日、ある自治体の方とお話しておりましたら、感染症の影響で、防災訓練を中止、または縮小しているとお伺いしました。このような難しい状況下だからこそ訓練をする必要があるのだと思います。災害はいつ起こるのか誰にもわかりません。あの日の記憶を風化させないよう、常に危機感を持ち続けることが肝要であると思う次第であります。

この事は現場の安全管理も同様であります。過去の辛く悲しい事故を決して忘れることなく、先人達が示した教訓を今日の現場運営に活かしていかなければなりません。このようなコミュニケーションを取り難い現状だからこそ、より一層強く感じる次第であります。

話は変わりますが、昨年は「論語と算盤」が日本中を駆け巡った一年でありました。様々なメディアが取り上げる度に、非常に嬉しく、誇らしく感じました。令和六年からは渋沢栄一翁が新しい一万円札の顔となります。論語と算盤を心に留め、世の中に、そして清水建設様にしっかりと貢献し、正しい利を上げるよう努めて参りたいと思います。

一方、現一万円札の顔、福沢諭吉は「学問ノススメ」において「賢人と愚人の別は学ぶと学ばざるとによりて出来るものなり」と記しております。学ぶ人は賢人(富人)となり、学ばない人はダメになるという事でありました。

いつの時代でも、どの業界でも、日々学び、改善し、新しい事を取り入れ改良して行くことが必要不可欠であります。もちろん、ここでの学びとは受験勉強のような類のものではありません。我々で例えるならば、新しい施工方法や素材の探求、職人の教育方法やコミュニケーションの取り方などでしょうか。

特に昨今はデジタル化が急速に広まっております。DXに対する学びは避けては通れません。私もようやくオンライン会議に慣れて参りました。CCUSの普及やBIMの活用は将来私達にとって必ず有用なものとなります。

建設業だから、職人だから、学ばなくて良いということは絶対にあり得ません。学びとは新しい事にチャレンジすることです。慣れない事も有るかもしれませんが、新しい学びは必ず職人の地位向上に繋がります。今年一年、私たちの仲間が実り多き学びをされることを切に願う次第です。

さて、今年寅年であります。昨年ご着任された坂尾支店長のもと、猛虎のように力強く清水建設様をお支えできるよう精進して参る所存であります。本年も何卒ご指導ご鞭撻の程宜しく願い申し上げます。困難な局面もあるかもしれませんが、安全第一を肝に銘じ、九州兼喜会らしく、義理と人情に重きを置き、一致団結して素晴らしい一年となるよう努めて参ります。

皆様方にとりまして、令和四年が素晴らしいものとなりますようご祈念申し上げて、新年の挨拶とさせていただきます。

年頭のご挨拶

清水建設(株) 九州支店
執行役員支店長

坂尾 彰 信



新年明けましておめでとうございます。

旧年中は格別のご支援、ご協力を賜りまして、心より感謝申し上げます。

本年も引き続きよろしくお願い申し上げます。

昨年は、1月7日に新型コロナウイルス感染拡大に伴い、首都圏で2度目の緊急事態宣言が出されたのを皮切りに、13日にはここ福岡を含む2府5県にも対象範囲が拡大されました。

その後も3度目の緊急事態宣言、たび重なる延長、まん延防止等重点措置等で10月まで、なかなか兼喜会の皆様と十分なお話の機会を設けることができませんでした。ここにお詫び申し上げますと共に、そのような環境下におきましても、安全に気を配り、現場を盛り上げていただいた兼喜会の皆様に深謝申し上げます。オミクロン株、第6波等まだ不安な情報はありますが、今年こそは、安全大会他様々な行事が実現でき、皆様と更に懇親を深めていけるよう願っております。

安全に関しては、兼喜会の皆様のご協力も仰ぎながら最優先で取り組んでおりますが、昨年は休業災害7件、不休災害37件、熱中症5件という結果となりました。一昨年と比べると、不休災害は減少しましたが、休業災害は3件増え、その大半がベテランの方の行動災害でありました。

改めて、災害事例を共有し、作業のマンネリ化による油断を防止すべく、安全意識を高める努力の必要性を感じております。一方、コロナ禍においてのマスク着用等、厳しい条件の中、熱中症の件数が大きく減った事、また7月、8月の時期に休業災害がなかった事は、皆さん一人一人が厳しい環境の中、心身共にしっかり準備して、現場に望んでいただいたおかげだと感じております。

事故を減らすには、おこった災害事例を共有し、コツコツと安全意識を高める努力をしていくしかありません。兼喜会の皆様のより一層のお力添えの程、よろしくお願い申し上げます。

さて、日頃大変ご協力をいただいている建設キャリアアップシステムCCUSについてですが、昨年末に篠森会長はじめ幹部の方に今木副社長からお話させていただいた中にもありましたが、井上社長がCCUS推進本部長に就任し、当社は日建連会長会社、CCUS推進本部長会社として、牽引していく役割を担っていくこととなります。

国交省は一昨年3月にCCUSの普及活用に向けた「官民施策パッケージ」を策定し、2023年度からの「あらゆる工事でのCCUS完全実施」に向けた建設業退職金共済(建退共)のCCUS活用への完全移行、社会保険加入確認のCCUS活用の原則化、CCUS義務化モデル工事の実施と、CCUSを活用することで、「技能者のレベルに応じた賃金支払い」の実現を推進していくことになりました。

こうした動きの中、日建連においても会員企業が達成すべき最低限の数値目標や更なる上乗せ目標値を定めるなど、積極的な推進、フォローが行われているところであります。

九州支店の各エリアにおかれましても、兼喜会の皆様のご努力により、技能者登録数、タッチ数の実績は上がってきておりますが、2次、3次の協力会社の皆様を含め、更なるご理解とご協力のもと、実績を上げていく必要があります。担い手確保のためのインフラとして、CCUSの活用、定着を図っていくためには皆さんには引き続きご協力、バックアップを、よろしくお願い申し上げます。

今年は、消化量が近年最高となっており、建設業界として労務逼迫が叫ばれるようになる中、労務確保を皆様をお願いしていく事となります。当社としても、様々な生産性向上策を日々追求し、今年一年皆様とともに頑張っております。

結びになりますが、九州兼喜会各社様の益々のご隆盛とご繁栄、併せて令和四年が皆様方にとって、素晴らしい一年となりますことを祈念申し上げ、新年の挨拶とさせていただきます。

本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

兼喜会議事録

○理事会

と き	9月16日(木) 12:00～
と ころ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他9名 調達部より 谷口部長 様

【議 題】

1. 西日本地区交流会の件
2. 全国連合兼喜会第3回支部長会議の件
3. 全九州役員会（12月開催）の件
4. 中間報告 5. 青年部 6. その他

○理事会

と き	10月11日(月) 14:00～
と ころ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他9名 調達部より 谷口部長 様

【議 題】

1. 全九州役員会（12月開催）日程変更の件
2. 青年部
3. その他

○ものづくり活性化推進大会

と き	10月11日(月) 15:00～16:30
と ころ	Teams TV会議
出席者	篠森会長他8名

○第1回全国連合兼喜会青年部 CCUS加入促進意見交換会

と き	9月21日(火) 13:00～14:30
と ころ	Teams TV会議
出席者	鶴崎部長他8名

○青年部後継者育成研修

と き	11月4日(木)～5日(金)
と ころ	Teams TV会議
出席者	鶴崎部長・山元幹事

○理事会

と き	11月11日(木) 12:00～
と ころ	兼喜会事務所
出席者	篠森会長他9名 調達部より 谷口部長 様

【議 題】

1. 全九州役員会（12月開催）の件
2. 令和4年九州総会の件
3. その他

○役員会

と き	12月2日(木) 16:00～
と ころ	ソラリア西鉄ホテル
出席者	篠森会長他15名

【議 題】

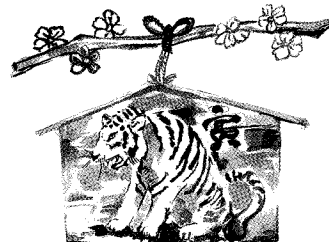
1. 令和4年九州総会の件
2. 清水建設全国連合兼喜会第63回定時総会（北海道大会）の件
3. その他

○全国連合兼喜会第3回支部長会議

と き	10月15日(金) 13:00～
と ころ	Teams TV会議
出席者	篠森会長、日高副会長、 杉山副会長

○第2回全国連合兼喜会青年部 CCUS加入促進意見交換会

と き	11月24日(水) 13:00～14時20分
と ころ	Teams TV会議
出席者	鶴崎部長、千代島副部長



発行所 福岡市中央区渡辺通3-6-11 福岡フコク生命ビル
清水建設九州支店内 九州兼喜会

印刷所 川本印刷株式会社
TEL 092-591-5110